

平成 29 年度日本農学会シンポジウムプログラム（案）

統一テーマ：「大変動時代の食と農」

主な対象：一般、学生・大学院生、若手研究者

日時：平成 29 年 10 月 14 日（土） 10 時より

場所：東京大学弥生講堂（300 人収容） 聴講無料

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科，（公財）農学会

■ 講演

10:00～10:07 開会挨拶・趣旨説明 会長

10:07～10:10 講演準備

I 顕在化した大変動

10:10～10:45 「降雨パターンの変動と林地災害の激甚化」 大丸 裕武（森林総合研究所 森林研究部門）

10:45～10:50 質疑・交代

10:50～11:25 「変動する海流システムと水産資源の持続可能性」 中田 英昭（長崎大学水産学部）

11:25～11:30 質疑・交代

II 変動の諸様相と対応技術開発

11:30～11:55 「環境変動が雑草生態や除草効果に及ぼす影響」

與語 靖洋（農研機構 農業環境変動研究センター）

11:55～12:00 質疑・交代

12:00～12:25 「地球温暖化によって果樹の栽培適地はどうかかわる？」

杉浦 俊彦（農研機構 果樹茶業研究部門）

12:25～12:30 質疑

12:30～13:30 ***** 休息 —昼食— *****

13:30～13:55 「水資源の減少・土壌塩類化に立ち向かう乾燥地の新しい食料生産法

—魚養殖と作物栽培を組み合わせたアクアポニックス— 山田 智（鳥取大学農学部）

13:55～14:00 質疑・交代

14:00～14:25 「地球温暖化から家畜生産を守る ～適応技術開発の取り組み～」

永西 修（農研機構 畜産研究部門）

14:25～14:30 質疑・交代

14:30～14:55 「パイプライン用水路整備による夏季灌漑水温の上昇抑制効果」

坂田 賢（農研機構 中央農業研究センター）

14:55～15:00 質疑・交代

III 国際的取り組み

15:00～15:25 「国際的な新興病害虫リスクの管理に向けた取組」

大藤 泰雄（農研機構 中央農業研究センター）

15:25～15:30 質疑・交代

15:30～15:55 「地球環境と食料・農業に関する国際的な科学と社会のコミュニケーション：

IPCC, GSP, GRA 等の活動」 八木 一行（農研機構 農業環境変動研究センター）

15:55～16:00 質疑・交代

16:00～16:10 ***** 休息（総合討論準備） *****

16:10～17:10 総合討論

17:10～ 閉会挨拶